

## 両荘みらいプロジェクト カウントダウンカレンダー

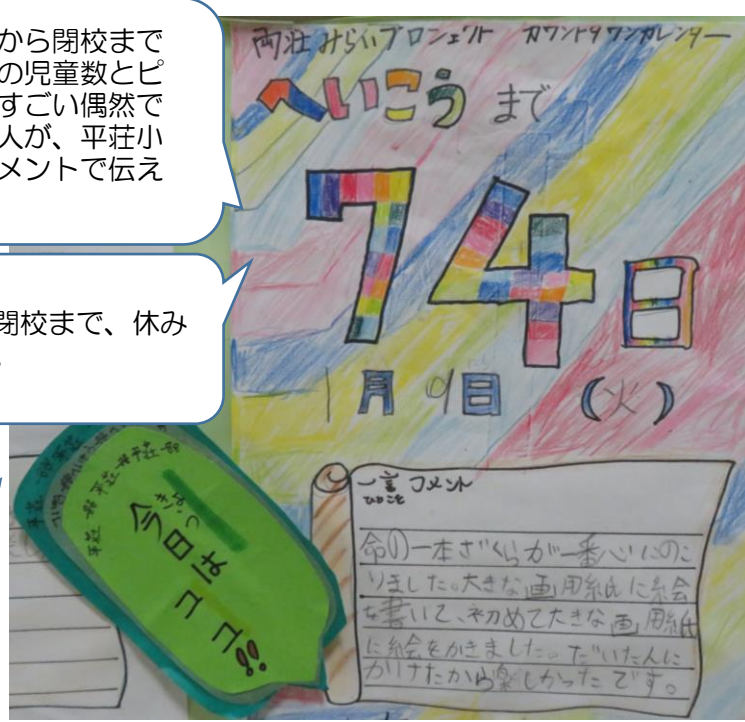
令和5年11月22日の平荘小学校131回目の創立記念日から閉校の日（令和6年3月31日）までをカウントダウンする企画を児童会が提案し、ただ今実施中です。職員室前の廊下に掲示しています。



なんと！創立記念日から閉校までの日数が、令和5年度の児童数とピッタリの数字でした。すごい偶然です。子どもたち一人一人が、平荘小学校の思い出を一言コメントで伝えてくれています。

1月9日（火）は、閉校まで、休みの日も含み74日です。

児童会のみなさん、素晴らしい企画を、ありがとうございます。  
 平荘っ子のみなさん、平荘小学校の思い出を伝えてくれてうれしいです。



『命の一本桜プロジェクト』は、阪神淡路大震災の被災者である神戸在住の中嶋先生（アトリエ太陽の子）に当時の様子を伝えていただきながら、『命』について考える企画をしました。  
 『生きていることのすばらしさ』『命の尊さ』『子どもを大切に思う親の愛情』等について、子どもたちはお話を聞きました。  
 そして、生きていることを感じながら平荘っ子のみなで『一本桜』の共同制作を行いました。

↓R4. 9. 30『命の一本桜プロジェクト』より



『命の一本桜プロジェクト』を通して、「地震の怖ろしさを知り、**災害に備えること**」を、子どもたちの記憶に残すことができれば、大変うれしいです。  
 自分の命や周りの人の命を守るために。





学級園に、教職員で、お花（ピオラ・葉ボタン）を植えました。お花でメッセージを伝えています。どんなメッセージかわかりますか？「ア」「リ」「ガ」「ト」「ウ」です。また、葉ボタンで♡を作っています（用務員さんの案です）。平荘小学校は、創立以来131年もの長い間、多くの子どもたちを育ててきました。その学びの場の平荘小学校に感謝をしています。同時に、平荘小学校は地域のシンボルとして、長い間地域の皆様に愛していただき、そして、支えていただいきました。地域の皆様への感謝の気持ちをお花で示しています。いつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。春には、かわいいお花が咲き誇ってくれることでしょう。

平荘っ子のみなさん  
目標をもって過ごしましょう

『一年の計は元旦にあり』

箱根駅伝で有名な青山学院大学の原晋監督は、目標設定について次のように話されています。

「道筋をつけることができればどんな目標にも近づける。抽象的、実現不可能な目標設定であってはいけない。」と。

また、目標は『半歩先』に置き、それを目指して練習する。

途方もない目標は、ただの妄想。『半歩先の目標』は、達成可能な目標に挑戦させるため、そしてモチベーションを上げるためでもある。目標設定には、自分自身の実力、立ち位置も理解していなければならない。実現可能な目標を立てて成功体験を積み上げていく。立ち位置が定まらないと、次の目標を描くことはできない。本人が把握しているからこそ、さらに半歩、半歩と歩みを進めることで成長を実感し、喜びを感じることができる。

（『人を育て 組織を鍛え 成功を呼び込む 勝利への哲学157』より）



夢なき者に理想なし、  
理想なき者に計画なし、  
計画なき者に実行なし、  
実行なき者に成功なし。  
故に、夢なき者に成功なし。  
《吉田松陰》